

【表紙】

| | |
|------------|----------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 東海財務局長 |
| 【提出日】 | 平成24年5月14日 |
| 【四半期会計期間】 | 第40期第1四半期（自平成24年1月1日至平成24年3月31日） |
| 【会社名】 | カナレ電気株式会社 |
| 【英訳名】 | Canare Electric Co.,Ltd. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 尾羽瀬 正夫 |
| 【本店の所在の場所】 | 愛知県日進市藤枝町奥廻間1201番地10 |
| 【電話番号】 | 0561-75-3001（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 執行役員管理部長 小淵 敦 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 横浜市港北区新横浜二丁目4番1号 |
| 【電話番号】 | 045-470-5503 |
| 【事務連絡者氏名】 | 執行役員管理部長 小淵 敦 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第39期 第1四半期 連結累計期間 | 第40期 第1四半期 連結累計期間 | 第39期 |
|-----------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|
| 会計期間 | 自平成23年1月1日 至平成23年3月31日 | 自平成24年1月1日 至平成24年3月31日 | 自平成23年1月1日 至平成23年12月31日 |
| 売上高(千円) | 2,166,846 | 2,306,431 | 8,108,718 |
| 経常利益(千円) | 284,746 | 347,249 | 802,392 |
| 四半期(当期)純利益(千円) | 175,564 | 193,724 | 555,066 |
| 四半期包括利益又は包括利益(千円) | 245,782 | 358,226 | 484,242 |
| 純資産額(千円) | 6,948,429 | 7,350,446 | 7,105,891 |
| 総資産額(千円) | 8,233,580 | 8,692,566 | 8,363,656 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金額(円) | 26.01 | 28.70 | 82.23 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円) | - | - | - |
| 自己資本比率(%) | 84.4 | 84.5 | 84.9 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式がないため記載しておりません。

4. 第39期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、新興市場の中心である中国市場でスローダウンしましたが、日米市場で売上増となるなど全体的に売上高は増加しました。

このようななか、当社グループはアジア（含む、日本）地域を中心に販売強化をはかった結果、円高によるマイナス影響があったものの、売上高2,306百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益325百万円（前年同期比19.0%増）、経常利益347百万円（前年同期比21.9%増）、四半期純利益193百万円（前年同期比10.3%増）と増収増益となりました。

また、海外売上高の当第1四半期連結累計期間（自平成24年1月1日至平成24年3月31日）の実績は次のとおりとなりました。

| | 米州 | アジア | 欧州 | その他の地域 | 計 |
|--------------------------|---------|---------|--------|--------|-----------|
| 海外売上高（千円） | 193,511 | 502,639 | 43,138 | 51,872 | 791,160 |
| 連結売上高（千円） | - | - | - | - | 2,306,431 |
| 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%） | 8.4 | 21.8 | 1.9 | 2.2 | 34.3 |

（注）1．海外売上高は、顧客の所在地を基礎とし、地域によって分類しております。

2．地域に関して、その内訳は次のとおりであります。

米州.....米国、カナダ、中南米諸国

アジア.....中国及び香港、韓国、シンガポール、タイ、インドネシア、台湾、インド等

欧州.....フランス、イギリス、イタリア等

その他の地域...上記以外

主なセグメントの業績は、次のとおりであります。

日本

日本市場は年度末需要が一時的に増加したことから、売上高は1,594百万円（前年同期比9.1%増）となり、セグメント利益も267百万円（前年同期比41.7%増）となりました。

米国

売上高180百万円（前年同期比7.5%増）となったものの円高の影響もあり、セグメント利益は7百万円（前年同期比8.1%減）となりました。

韓国

売上は順調で213百万円（前年同期比11.2%増）となったものの、売上総利益率の悪化（主に円高の影響）によりセグメント利益は5百万円（前年同期比45.8%減）となりました。

中国

売上高は127百万円（前年同期比30.8%減）、セグメント利益は18百万円（前年同期比54.9%減）と減収減益となりました。

シンガポール

売上高117百万円（前年同期比11.3%増）、セグメント利益23百万円（前年同期比25.9%増）と順調でした。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第 1 四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第 1 四半期連結累計期間における当社グループの研究開発活動の金額は、88百万円であります。

なお、当第 1 四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 23,092,200 |
| 計 | 23,092,200 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年3月31日) | 提出日現在発行数(株) (平成24年5月14日) | 上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名 | 内容 |
|------|------------------------------------|-----------------------------|----------------------------|---------------|
| 普通株式 | 7,028,060 | 7,028,060 | 東京証券取引所 市場第一部 | 単元株式数 100株 |
| 計 | 7,028,060 | 7,028,060 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総数増減数(株) | 発行済株式総数残高(株) | 資本金増減額(千円) | 資本金残高(千円) | 資本準備金増減額(千円) | 資本準備金残高(千円) |
|--------------------------|---------------|--------------|------------|-----------|--------------|-------------|
| 平成24年1月1日～ 平成24年3月31日 | - | 7,028,060 | - | 1,047,542 | - | 262,000 |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年12月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年3月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 278,200 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 6,748,800 | 67,488 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 1,060 | - | - |
| 発行済株式総数 | 7,028,060 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 67,488 | - |

【自己株式等】

平成24年3月31日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|------------|--------------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| カナレ電気株 | 愛知県日進市藤枝町 奥廻間1201番地10 | 278,200 | - | 278,200 | 3.95 |
| 計 | - | 278,200 | - | 278,200 | 3.95 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成24年1月1日から平成24年3月31日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日) |
|-------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,712,885 | 3,862,067 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,040,571 | 1,171,659 |
| 商品及び製品 | 1,008,678 | 1,098,296 |
| 仕掛品 | 41,453 | 31,560 |
| 原材料及び貯蔵品 | 178,504 | 174,237 |
| その他 | 523,793 | 461,706 |
| 貸倒引当金 | 3,149 | 3,800 |
| 流動資産合計 | 6,502,738 | 6,795,728 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 755,108 | 748,585 |
| その他 | 2,106,768 | 2,186,988 |
| 減価償却累計額 | 1,660,596 | 1,692,940 |
| 有形固定資産合計 | 1,201,280 | 1,242,633 |
| 無形固定資産 | 6,016 | 5,854 |
| 投資その他の資産 | 653,621 | 648,350 |
| 固定資産合計 | 1,860,918 | 1,896,838 |
| 資産合計 | 8,363,656 | 8,692,566 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 519,545 | 567,975 |
| 未払法人税等 | 132,190 | 151,494 |
| 賞与引当金 | 62,665 | 123,415 |
| 役員賞与引当金 | 9,897 | 2,685 |
| その他 | 329,014 | 276,382 |
| 流動負債合計 | 1,053,312 | 1,121,953 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 3,092 | 3,534 |
| 役員退職慰労引当金 | 77,820 | 74,581 |
| その他 | 123,539 | 142,049 |
| 固定負債合計 | 204,452 | 220,165 |
| 負債合計 | 1,257,765 | 1,342,119 |

| | 前連結会計年度 (平成23年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,047,542 | 1,047,542 |
| 資本剰余金 | 1,175,210 | 1,175,210 |
| 利益剰余金 | 6,138,465 | 6,218,518 |
| 自己株式 | 335,031 | 335,031 |
| 株主資本合計 | 8,026,188 | 8,106,241 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 26,961 | 5,798 |
| 繰延ヘッジ損益 | 1,610 | 3,817 |
| 土地再評価差額金 | 371,051 | 371,051 |
| 為替換算調整勘定 | 523,895 | 386,723 |
| その他の包括利益累計額合計 | 920,296 | 755,794 |
| 純資産合計 | 7,105,891 | 7,350,446 |
| 負債純資産合計 | 8,363,656 | 8,692,566 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 2,166,846 | 2,306,431 |
| 売上原価 | 1,372,712 | 1,442,491 |
| 売上総利益 | 794,133 | 863,939 |
| 販売費及び一般管理費 | 520,401 | 538,157 |
| 営業利益 | 273,732 | 325,782 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4,837 | 6,479 |
| 為替差益 | 1,566 | 11,353 |
| 不動産賃貸料 | 1,757 | 1,549 |
| その他 | 4,784 | 4,429 |
| 営業外収益合計 | 12,945 | 23,811 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 159 | - |
| 不動産賃貸原価 | 944 | 871 |
| 投資事業組合運用損 | 405 | 837 |
| 固定資産除却損 | - | 37 |
| その他 | 421 | 597 |
| 営業外費用合計 | 1,930 | 2,344 |
| 経常利益 | 284,746 | 347,249 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 380 | - |
| 特別利益合計 | 380 | - |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 843 | 11,178 |
| 特別損失合計 | 843 | 11,178 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 284,283 | 336,071 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 120,105 | 132,330 |
| 法人税等調整額 | 11,386 | 10,017 |
| 法人税等合計 | 108,719 | 142,347 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 175,564 | 193,724 |
| 四半期純利益 | 175,564 | 193,724 |

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 175,564 | 193,724 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 182 | 32,759 |
| 繰延ヘッジ損益 | - | 5,428 |
| 為替換算調整勘定 | 70,400 | 137,171 |
| その他の包括利益合計 | 70,217 | 164,502 |
| 四半期包括利益 | 245,782 | 358,226 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 245,782 | 358,226 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | - | - |

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

| |
|---|
| 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日) |
| (1) 連結の範囲の重要な変更 当第1四半期連結会計期間より、カナレシステムワークス株式会社は重要性が増したため、連結の範囲に含めておりません。 |
| (2) 持分法適用の範囲の重要な変更 該当事項はありません。 |

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成に当たり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

| |
|---|
| 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日) |
| (会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。 |

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 19,039千円 | 21,535千円 |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年3月31日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|-------------|------------|-------|
| 平成23年3月17日 定時株主総会 | 普通株式 | 53,998 | 8.00 | 平成22年12月31日 | 平成23年3月18日 | 利益剰余金 |

当第1四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|-------------|------------|-------|
| 平成24年3月13日 定時株主総会 | 普通株式 | 87,748 | 13.00 | 平成23年12月31日 | 平成24年3月14日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | |
|-----------------------|-----------|---------|---------|---------|--------|
| | 日本 | 米国 | 韓国 | 中国 | 台湾 |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,460,221 | 167,301 | 191,636 | 184,358 | 21,486 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 502,506 | - | - | 182,000 | - |
| 計 | 1,962,728 | 167,301 | 191,636 | 366,359 | 21,486 |
| セグメント利益又は損失() | 188,657 | 8,147 | 9,759 | 41,656 | 1,252 |

| | 報告セグメント | | 合計 |
|-----------------------|---------|--------|-----------|
| | シンガポール | 欧州 | |
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 105,450 | 36,391 | 2,166,846 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | - | - | 684,507 |
| 計 | 105,450 | 36,391 | 2,851,354 |
| セグメント利益又は損失() | 18,315 | 310 | 267,478 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
 主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|---------|
| 報告セグメント合計 | 267,478 |
| セグメント間取引消去 | 10,994 |
| その他の調整額 | 4,740 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 273,732 |

当第1四半期連結累計期間（自平成24年1月1日至平成24年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | |
|-----------------------|-----------|---------|---------|---------|--------|
| | 日本 | 米国 | 韓国 | 中国 | 台湾 |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,594,163 | 180,000 | 213,174 | 127,395 | 36,396 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 501,370 | - | - | 177,221 | - |
| 計 | 2,095,533 | 180,000 | 213,174 | 304,617 | 36,396 |
| セグメント利益 | 267,448 | 7,487 | 5,280 | 18,786 | 5,528 |

| | 報告セグメント | | 合計 |
|-----------------------|---------|--------|-----------|
| | シンガポール | 欧州 | |
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 117,470 | 37,830 | 2,306,431 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | - | - | 678,591 |
| 計 | 117,470 | 37,830 | 2,985,023 |
| セグメント利益 | 23,060 | 1,630 | 329,221 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
 主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

| 利益 | 金額 |
|-----------------|---------|
| 報告セグメント合計 | 329,221 |
| セグメント間取引消去 | 4,422 |
| その他の調整額 | 7,861 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 325,782 |

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「日本」セグメントにおいて、当社の名古屋本社に隣接する遊休の土地について地価が下落したため、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては11,178千円であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日) |
|---------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 26円01銭 | 28円70銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 175,564 | 193,724 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 175,564 | 193,724 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 6,749,849 | 6,749,849 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年5月9日

カナレ電気株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大橋 英之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 今泉 誠 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているカナレ電気株式会社の平成24年1月1日から平成24年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年1月1日から平成24年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、カナレ電気株式会社及び連結子会社の平成24年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。